



言動に一貫性を持たせる

「子どもが、言う事を聞かず困っています。」と言われる事があります。また、最近「うちは、子どもの自主性に任せていますから。」と、あまり、問題と捉えていない場合もあるようです。とは言っても、日々の食事や入浴等、生活習慣に関わる事を、毎日「いやだ!」「食べない!」「お風呂入らない!」等と駄々をこねられては、親もへとへとになりますね。生活習慣に関する事は、自由にさせず、親が主導権を握った方がよさそうです。生活習慣は「健康」にも関わってきますので、小さい時から繰り返し教えてあげてください。

言う事を聞かなくなる原因の一つに「親が約束を破る」という事があります。例えばパパが「日曜日、動物園に行こう」と言ったのに、都合で行けなくなると「パパのウソつき!」になります（うちも泣かれました）。大人はウソのつもりがなくても、子どもに大人の事情は分かりません。そんな時は、行く直前まで言わないようにすると、ウソにならずに済みます。

信用をなくすと後が大変です。予防注射や歯の治療等に連れて行く時、泣くからと何も言わずに連れて行ったりすると、大泣きされる場合が多いようです。どこに行くのか、何をされるのか、きちんと話す事で、だんだん泣かないようになります。

「お菓子は買わない」と言ったのに、安かったから買ってやったり、泣かれたから仕方なく買ってやったりするのも、言う事を聞かなくなる原因の一つになります。逆に「買ってあげる」と言ったのに子どもが忘れているからと買わないのも、「約束を破った」になります。言う事とする事に一貫性を持たせる事で、子どもの聞き分けは良くなっていきます。

歩く時は安全に注意

お出かけの時や子どもと散歩をする時に、交通ルールを教えましょう。すぐには、分からなくても、繰り返し教えると、分かってきます。1年生になった時に、1人で道を歩いても大丈夫なようにしておきたいですね。教えたいルールは、主に4つです。

- ① 歩道がある所は歩道を歩く
- ② 歩道がなければ、右側を歩く
- ③ 道路を渡る時は、左右を見て、安全を確認して渡る
- ④ 歩行者用信号がある所は、信号を守って安全確認をして渡る

他にも通学路の交通状況に合わせて、通るたびに教えてあげましょう。

又、手を繋いで歩いてもスルッと抜ける事がありますね。そんな時に使える手のつなぎ方を3つ紹介します。

・普通に手を繋ぎ、小指だけ手の甲側へ



・子どもの手首を掴み、人差し指を握らせる



・人差し指と中指の間で子どもの手首をつかみ、親指を子どもに握らせる



こういった方法も試してみて、安全に歩けるようになってほしいと思います。

通信を読まれた皆様のご意見をお聞かせください。簡単なアンケートです。回答は下記のURLまたはQRコードからお願いします。回答期間：令和4年2月28日（月）まで家庭教育支援への個別相談も対応します。お気軽にご連絡ください。
URL：<https://logoform.jp/form/fJeH/45947>

